



MEIKO CUP 争奪関東連盟夏季大会
2015 MEIKO CUP 争奪リトルシニア関東連盟夏季大会（東京中日スポーツ・東京新聞後援）の3位決定戦は12日、茨城県龍ケ崎市のたつのこスタジアムで行われ、川崎中央が3位入賞してジャイアンツカップ出場権を得た。（瀬川ふみ子）

3位決定戦

快進撃は続く

今大会屈指の剛腕・小野寺瑞生を擁する川崎中央は、準決勝で佐倉に惜敗したが、新宿との3位決定戦では1回から打線が爆発、先頭の大木島龍のセンタースタックを口火に、3番・二瓶那弥、4番・小野寺の連続タイムリーで先制。さらに敵失、石川の二塁打などで一挙6点を奪った。



大量援護を得た先発の小野寺は自慢の重いストリート武器に5球を1回から打ち込んだ。先頭の大木島龍のセンタースタックを口火に、3番・二瓶那弥、4番・小野寺の連続タイムリーで先制。さらに敵失、石川の二塁打などで一挙6点を奪った。

川崎中央 3位入賞

準決勝

打力で圧倒

陽がレフトへ大きなホームラン。なお水嶋滉陽、五味、斎藤恵太など、5点。その後も、二塁打2本と、打

以降はバックの好守にも盛り立てられホームを踏ませぬ好投をみせた。打

新宿 悔しさバネに全国で大暴れ!



4位の新宿シニア

初戦の2回戦と3回戦は圧勝。4回戦以降はすべて1点差で勝ちベスト4入りした新宿。日本選手権大会出場に続き、もう一つ勝ってジャイアンツカップも出場を決めたいところだったが、準決勝で武蔵府中、3位決定戦では川崎中央にいずれもコールドで敗れ、初めてのジャイアンツカップ出場はならなかった。

キャプテンの長友大知は「自分たちに力がないことに加え、雨などで練習があまりできていなくて、この2試合は反省が

シニア選抜が連覇目指し米国へ出発

リトルシニア選抜チームが今夏も米国イリノイ州クリスタルレークで行われる全米選手権に参加する。20日に東京都調布市内で行われた壮行会で、板谷竜太主将が「みんなで全力プレーで優勝を目指したい。自分たちはみんなが動きやすいように情報伝達などをしっかりとしていきたいと思います」と抱負を語った。

一行は7月22日に渡米し、8月4日に帰国予定。シニア選抜は昨年、同大会で優勝しており、今年は連覇を目指す。

壮行会で健闘を誓った選抜メンバー

猪爪義治（熊谷）
▽選手 宮崎竜斗（苫小牧西）吉田凱（宮城臨空）須山元（鉢盛）板谷竜太（板橋）畠山大豪（練馬）齊藤礼二（国立中央）久保田諒（小金井）片山昂星（横浜緑）小野寺瑞生（川崎中央）石田恭賀（宇都宮）河村唯人（所沢中央）横山優斗（八千代中央）田中佑弥（匠瑳）藤下皓平（豊田）前原健人（高川学園）糸井辰徳（京都丹後）清家海努（北摂）川原陸（長崎北）

